

地震・津波について 知ろう

震度と揺れ等の状況

南海トラフ巨大地震が発生したとき、田辺市では最大震度7が予想されています。



津波に関する警報と注意報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。

	発表される津波の高さ 数量での発表(津波の高さと予想高さの区分)	とるべき行動	想定される被害
大津波警報 (特別警報に位置付け)	10m超(10m<予想高さ)	海岸や河川沿いにいる人は、ただちに高台など安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返していくので、津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を継続してください。	木造家屋が全壊・流失します。安全が確認されるまでは、避難場所で待機します。
津波警報	10m(5m<予想高さ10m)	高い	ラジオ・大津波警報の発表状況(気象庁)・津波警報の発令状況(気象庁、和歌山県)・津波警報が解除されるまで安全な場所への避難を継続してください。
津波注意報	5m(3m<予想高さ5m)	3m(1m<予想高さ3m)	海の中にいる人は、ただちに海から上がり、海難から脱れてください。 津波注意報が解除されるまで船に入ったり海上に近づけたりしないでください。

●震源が陸地に近いと津波警報が間に合わないことがあります。「揺れたたら避難を直ちに」という津波沿岸の地域などの影響により局地的に予想よりも早く津波が来る場合があります。「高い場所を目指して避難しましょ。」「津波が沿岸の地域などへの影響により局地的に予想よりも早く津波が来る場合、また津波警報の発表後も津波変動が継続する場合には、「津波予測(若干の時間変動)」が発表されます。●想される津波の高さは、通常は5段階の数値で表示されます。ただし、地図の規則(マグニチュード)を考慮するうえで最大震度の場合、最初に発表する大津波警報や津波警報では、予想される津波の高さを「巨大」や「高い」といいう言葉で発表され、非常事態であることを伝えられます。

一人ひとりが行う 自分自身の防災活動

自助・共助・公助

防災・減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族・近所でお互いに助け合い地域を守ること」を指します。また、公助とは「公的機関からの救助や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助・共助・公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。

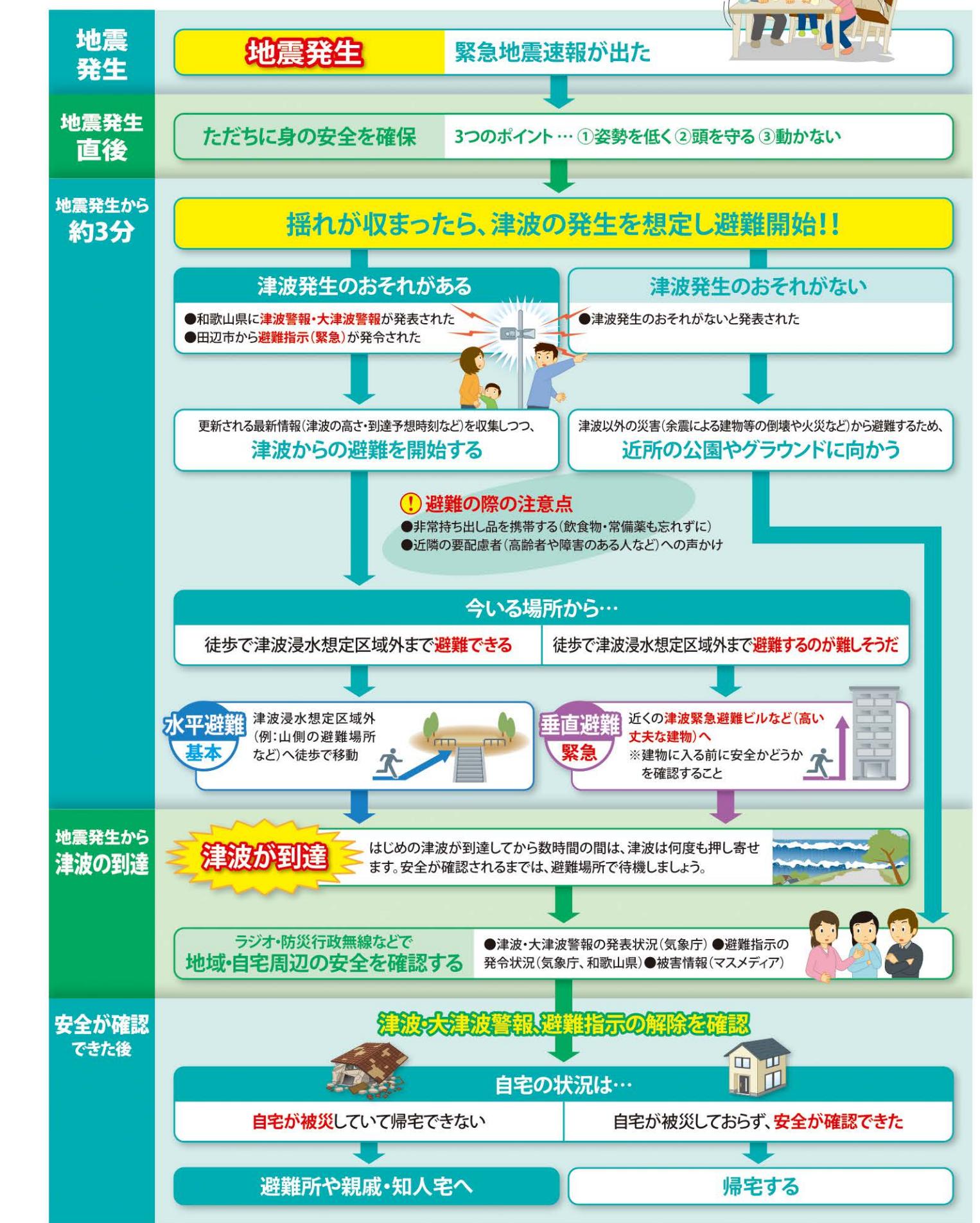


今すぐできる地震対策

地震によって建物が倒壊しない場合でも、大きな家具の転倒やガラスの飛散などにより、ケガをしたり、閉じ込められたりするおそれがあるので、今すぐ地震対策をしましょう。



地震・津波から 身を守るポイント



避難経路を想定して マイマップを作ろう

マイマップの作り方

地震はいつ起こるかわかりません。いろんな場面において地震や津波が起きた場合に備えて、家族みんなの避難先(裏山、高台、公園など一時的に身を守るために緊急避難する場所)を確認しておきましょう。また、表面の津波避難マップに、自分が避難する場合を想定した避難情報を書き加えて、より具体的な避難行動イメージができるようにしておきましょう。

マイマップの記入例(表面:津波避難マップ)

①自宅や学校、勤務先等をチェック

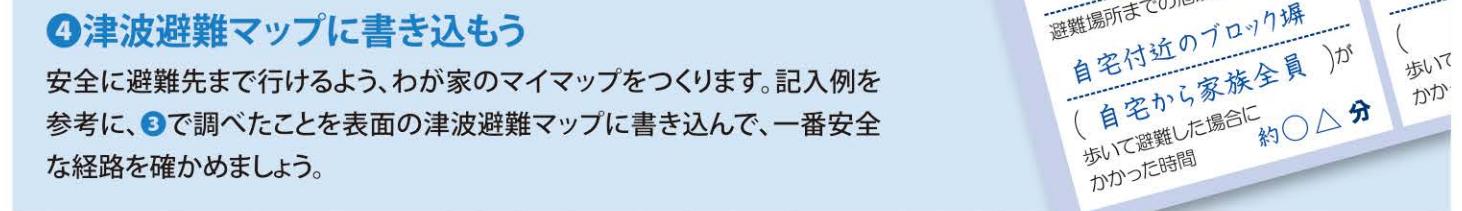
まず、津波避難マップであなたの自宅や学校、勤務先を探して、予測されている被害の有無(津波浸水想定区域に入っている、危険箇所がある等)を確かめましょう。

津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



②避難先と避難経路を決める

次に、目標とする避難先を確認して、避難先までの経路を考えてみましょう。津波の浸水範囲にかかる道路や橋、地下道、狭い道路は避けるコースを設定しましょう。



③避難経路を歩いてみよう

実際に避難先まで歩いてみましょう。津波避難マップを持って、避難経路上の危険なところや、目印などをチェックしながら歩き、安全で避難しやすい経路や、所要時間を確認しましょう。

④津波避難マップに書き込もう

安全に避難先まで行けるよう、わが家のマイマップをつくります。記入例を参考に、④で調べたことを表面の津波避難マップに書き込んで、一番安全な経路を確かめましょう。

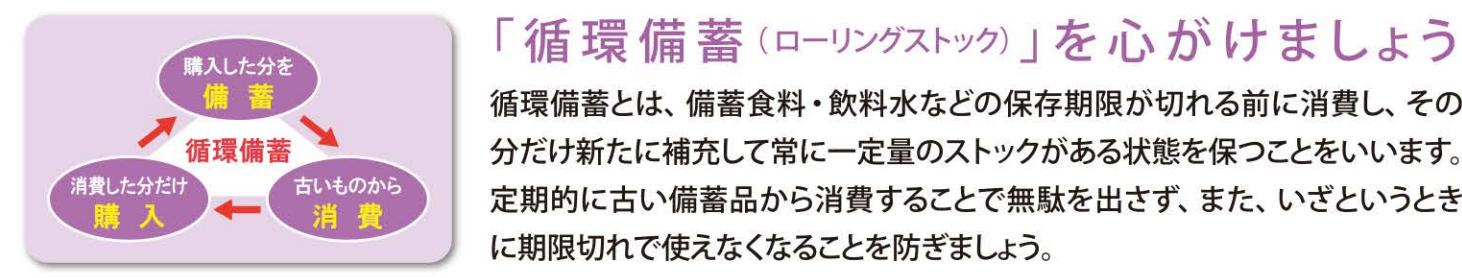
日頃からの備えが大切 非常持ち出し品・連絡方法など

非常持ち出し品の準備

災害が発生したときは、すぐに避難しなければいけません。避難する場合に備えて、リュックサックなどに必需品をまとめ、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。

食料	救急・安全対策	貴重品
<input type="checkbox"/> 飲料水(1人1日~3リットルを自己安) <input type="checkbox"/> 非常食(缶詰、乾パン、ハムなど) <input type="checkbox"/> 携帯食(チキンレッグ、キャディーなど) <input type="checkbox"/> 粉ミルクと離乳食(赤ちゃんがいる場合) <input type="checkbox"/> アレルギー対応食品(アレルギーがある場合)	<input type="checkbox"/> 常備薬(胃腸薬、かぜ薬など) <input type="checkbox"/> 包帯、ガーゼ、はんそうこう <input type="checkbox"/> 損傷、消毒薬 <input type="checkbox"/> 持病のある方の薬 <input type="checkbox"/> ヘルメット、防災ズキン	<input type="checkbox"/> 現金(小銭も必要) <input type="checkbox"/> 預貯金通帳、印鑑 <input type="checkbox"/> クレジットカード類 <input type="checkbox"/> 健康保険証 <input type="checkbox"/> 免許証など(身分を証明するもの) <input type="checkbox"/> ホイブル

衣類など	日用品など
<input type="checkbox"/> 衣類(軽い物と薄い物) <input type="checkbox"/> 下着類 <input type="checkbox"/> タオル、毛布 <input type="checkbox"/> 手袋、軍手 <input type="checkbox"/> 寝袋 <input type="checkbox"/> 雨具	<input type="checkbox"/> 携帯電話(充電器・バッテリー) <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> ロープ <input type="checkbox"/> 布ガムテープ <input type="checkbox"/> ペン記用具(油性マジック) <input type="checkbox"/> 洗面用具 <input type="checkbox"/> メガネ <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ <input type="checkbox"/> 携帯電池(充電池) <input type="checkbox"/> 紙おむつ <input type="checkbox"/> 生理用品



循環備蓄とは、備蓄食料・飲料水などの保存期限が切れる前に消費し、その分だけ新たに補充して常に一定量のストックを保つことをいいます。定期的に古い備蓄品から消費することで無駄を出さず、また、いざというときに期限切れで使えなくなることを防ぎましょう。

災害時の連絡方法・情報の入手先

災害時の連絡方法を家族で確認しておきましょう。また、田辺市の『防災・行政メール』を登録しておきましょう。

災害伝言ダイヤル	田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」
電話を用いて安否情報(伝言)の録音・再生を行うことができます。	気象警報や避難情報などの災害に関する情報をメールでお知らせします。
① 171をダイヤル	【登録方法】 ① register@bousaiyousei.aamilk.aikis.jpに空メールを送信します。(メールアドレスが登録されます)
② 録音は①	② ①の直後に登録確認メールが送られてきますので、そのメールに記載されておりますURL(ホームページアドレス)にアクセスします。
③ 被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル	③ 登録ページが表示されますので登録を完了させます。
④ 音声ガイダンスに従い、録音・再生	④その後、情報が発信された場合に防災・行政メールとして送られています。

田辺市ホームページ

田辺市の防災に関する情報などを提供しています。

URL ▶ <http://www.city.tanabe.lg.jp/>

QRコード URL ▶ <http://bousaiyousei.aamilk.aikis.jp/>

QRコード

井原地区における主な避難場所と避難経路

